



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2013～2014年度 RI会長 ロン D. パートン

RIテーマ Engage Rotary Change Lives ローターリーを実践しみんなに豊かな人生を

クラブテーマ「初心にもどり自分とクラブを見つめ直そう」会長 山本良一

副会長 矢岸貞夫 幹事 加藤正幸

第1185回 例会 2014.6. 6(金) 雨

司会:小島 真君 指揮:岡 良森君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山本良一君

いよいよ8日は創立25周年記念事業の日となりました、本日はリハーサルを行い当日に備えます、「全員参加」をお願いします。当日の講演会開会挨拶文を挨拶にします。



「梅雨入り直後の日曜日の午後、何人の方が来てくれますか心配をしておりましたが、このように多くの皆様にご参集いただき、大変ありがとうございます。皆様が防災に対し高い関心があることを改めて痛感しました。

せせらぎ三島ロータリークラブ主催ですので、ロータリークラブについて一言お話させていただきます、ロータリークラブはひと言でいえば奉仕クラブ組織であります。自分の職業を通じて世界の人々へ奉仕することに主眼が置かれています。自分の職業を生かして地域に奉仕していくことを目指しています。

この度、岩手県大槌町の佐々木生涯学習課長兼図書館長さんに記念講演をお願いすることになりましたが、きのうきょうのお付き合いではございません、2011. 3. 11東日本大震災以来、大槌町の子供たちに、流されなくなった図書館の本の代わり当クラブの会員が家庭にある子供向けの本を集め大槌町のロータリークラブの協力をいただき大槌町のこどもたちに届けたのが始まりでした。以来3年、毎年クラブの「東日本大震災復興支援委員会」のメンバーが大槌町を訪問し、支援を続けてきました。

今回タイトルは「逆境に立ち向かう」ですが、ひょうたん島の町、大槌町の復興の様子をお聞きすることができます。

三島市は幸いなことに南海トラフ大地震の第4次被害想定でも津波の被害は想定されていませんが、緊急避難道路の整備は必要不可欠です。

三島市民として「東日本大震災を忘れることなく、一人ひとりが 防災意識を高める」ということが今回の講演の主旨でもあります。およそ1時間少々の講演ですが、ご聴講いただきたく、お願いいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	30/32	93.75%	32/32	100%
今回	30/33	90.91%	会員総数	34名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

田中君、仲原君、渡邊君

おめでとう

入会記念日 6月6日 望月保延君

今日の料理



幹事報告

幹事 加藤正幸君

- ①6/20クラブ協議会 発表は各委員会報告2～3分で
- ②6/7歓迎会 PM6:30駅前日本海庄屋
- ③6/8式典 当日AM9:30会場集合
- ④6/8式典終了後、反省会 焼き鳥てっちゃん
- ⑤本日、理事・役員会開催

ROTARY NEWS

6月4日に閉幕したロータリー国際大会。4日間にわたりシドニーの街をにぎわせた今大会は、3つの世界記録を残しただけでなく、ポリオ撲滅を大きく後押しするものとなりました。

大会直前、5月30日に行われたポリオ撲滅支援のためのシドニーのハーバーブリッジ登頂イベントに、世界中から集まった340人が参加。2011年に人気司会者のオブラ・ウィンフリーさんがファンとともに打ち立てた記録を塗り替え、世界新記録を打ち立てました。さらに、橋に登った参加者らが278カ国の国旗を掲げ、「一つの橋の上に掲げられた国旗の数(most flags flown on a bridge)」でギネスに認定されました。

世界記録はこれにとどまらず、ロータリーの公共奉仕広告によるポリオ撲滅認識向上キャンペーン、「世界最大のCM」が「写真による最大の認識向上キャンペーン」としてギネス世界記録に。

これらの快挙に続き、さらに大きいニュースが大会を盛り上げました。6月1日、オーストラリアのトニー・アボット首相がロータリーのポリオ撲滅キャンペーンに1億ドルの支援を提供することを発表。さらにその2日後には、Chrome Group副会長のエメカ氏が、ロータリー財団にポリオ撲滅を目的とした100万ドルを寄付することを発表しました。

シドニー大会の主なハイライトは以下の通りです。

- ・世界の水問題に挑む：大会直前の5月30日に開かれた今年の世界水サミットでは、他団体との協力に焦点が当てられました。水と衛生の分野の世界的専門家も出席したこのサミットでは、民間セクター、NGO、政府とのパートナーシップを通じて効果的なプロジェクトを実施することの重要性が強調されました。
- ・若者に力を：オーストラリアの元人気クリケット選手でMewsieの設立者であるブレット・リーさんと、元ロータリー奨学生でGlobal Fund for Childrenの設立者であるマヤ・アジュメラさんが、世界の貧しい子どもたちに明るい未来を与えるための自身の活動を紹介し、出席者に感動を与えました。
- ・平和の推進：元ロータリー平和フェローで、国際労働機関(ILO)のアフリカ地域担当者であるンウィラ・チガガさんが講演し、性別にかかわらず、すべての人に平等な仕事の機会を与えることの必要性について訴えました。
- ・疾病との闘い：米国疾病対策センター(CDC)のシニア公共保健アドバイザー、レネー・サウンダースさんが講演し、エイズ撲滅には官民のパートナーシップが重要であることを強調しました。また、国際糖尿病連合元会長のマーチン・シリクさんが、ロータリーの助けとともに糖尿病問題を国連決議に盛り込み、国連の「世界糖尿病デー」を実現させた自身の体験について話しました。

スマイルボックス

根津延和君：本日は早くこれました。

大房正治君：6月8日(日)25周年事業、皆様で御輿をかつぎましょう。宜しく願い致します。

太田政人君：6月1日はアユ解禁日で早速行って来ました。春先の低温の影響で成育が遅く追いはイマイチでしたが、25匹釣れました。魚影は濃いので今年は楽しめそうです。

望月保延君：皆、いよいよ明後日25周年を迎えます。各人そのポジションごとで力を発揮しましょう。ところで6月3日付の朝日新聞静岡版にて告知記事が掲載されました。見たメンバーもいると思います。

小林 勝君：もうすぐ25周年です。今までご協力いただきましてありがとうございます。もう少しです。よろしく願います。

土屋 巧君：6月8日はいよいよ本番ですね。全員一致団結して「心の絆を深めましょう！」岡さん、心のキズをいやしましょう！！

服部光弥君：本日、三島市美化推進会議へ出席してきました。小林幹事エレクトの会社が20数年間会社周りだけでなく広いエリアでの清掃活動を評価され、環境美化功労賞をうけました。さすがロータリアンだなあ……。満足して後悔しない納得の家づくり・・・プライムホームでした。

PHOTO GALLERY

